

第9回アフリカ開発会議の横浜開催決定について

2025年（令和7年）に開催される第9回アフリカ開発会議（TICAD9）について、開催地を本市とすることが外務省から発表されました。

1 日程及び会場

現時点では外務省から発表されておりませんが、2019年（令和元年）に本市で開催されたTICAD7を含む直近3回のTICADについては、いずれも8月下旬に開催されています。

また、会場については、本市で開催された過去3回のTICADのいずれもパシフィコ横浜が会場となっており、今回のTICAD9に関して本市が外務省に提出した誘致計画案でも、パシフィコ横浜を提案しています。

2 開催に向けた準備

安全で円滑な会議運営に貢献するため、今後は庁内の体制を整えていくとともに、外務省や市内・県内の関係各界の皆様とともに、準備を進めてまいります。

開催に向けては、グローバルMICE都市としての競争力強化と魅力向上、アフリカとのビジネスを含めた連携の強化による市内経済の活性化につなげていくとともに、2027年（令和9年）の「GREEN×EXPO2027」の成功への大きな弾みとすることを目指します。

3 市民交流及び技術協力の深化

これまで積み重ねてきた小中学校での「一校一国」等の市民交流を継続し、市民の国際理解や次世代育成につなげます。

また、水道、廃棄物管理、港湾等の分野における都市課題解決に向けた技術協力についても、JICA等の関係機関等とも連携しながら、引き続き推進してまいります。

4 添付資料

(1) 令和5年8月8日付 記者発表資料

「第9回アフリカ開発会議（TICAD9）の2025年横浜開催決定！」

(2) 参考資料：第7回アフリカ開発会議横浜市開催推進本部体制図

参考：これまでの取組の経緯

日 程	項 目
令和4年 8月29日(月)	山中市長が清水富雄市会議長及び日本アフリカ友好横浜市議員連盟（以下、「市議員連盟」）と共に TICAD9 誘致を表明
10月25日(火) ・28日(金)	市議員連盟から県内選出国會議員等へ横浜開催に関する要望行動を実施
11月22日(火)	山中市長から高木外務大臣政務官に横浜開催を要望
令和5年 1月17日(火)	山中市長がボツワナ大使と面会
2月3日(金)	山中市長がチュニジア大使と面会
3月15日(水)	「大使たちの視線」写真展開幕式においてチュニジア大使、モロッコ大使、レソト大使と山中市長が面会
	TICAD8 で日本政府が表彰した「第4回野口英世アフリカ賞」の受賞者が来浜
3月20日(月)	TICAD9 誘致の広報ポスター掲出をスタート
4月14日(金)	外務省が TICAD9 開催地の公募をホームページで公表
4月24日(月)	「第9回アフリカ開発会議 横浜誘致推進協議会」（以下、「協議会」）設立総会開催
4月25日(火)	「第9回アフリカ開発会議 横浜誘致議員連盟」（以下、「国會議員連盟」）設立総会に、山中市長が協議会会長として出席
	協議会と国會議員連盟との合同で松野博一内閣官房長官及び山田賢司外務副大臣に要望
5月24日(水)	市会本会議において「第9回アフリカ開発会議の横浜開催を求める決議」を可決
	駐日アフリカ外交団（ADC）会議において TICAD9 横浜誘致について説明
5月31日(水)	外務省への誘致計画案・調査票等を提出
6月下旬	外務省による現地調査への対応
7月11日(火)	外務省へ横浜開催について要望（春の国家要望）
8月8日(火)	TICAD9 の開催都市が横浜に決定

第 9 回アフリカ開発会議（TICAD9）の 2025 年 横浜開催決定！

本日（令和 5 年 8 月 8 日（火））、第 9 回アフリカ開発会議（TICAD9）の開催地について、閣議にて了解されたことが外務省から発表されました。

今回、アフリカ開発会議としては初めて、開催地が公募されました。横浜市は過去 3 回の開催実績やグローバル MICE 都市としての高い会議開催支援能力、TICAD 開催を契機に脈々と築いてきたアフリカとの交流の絆、水道や廃棄物管理などの都市課題解決への支援の取組等をお伝えし、誘致を進めてきました。

2025 年の会議開催日程は未定ですが、今後、安全で円滑な会議の運営、横浜市・神奈川県活性化、国際交流による次世代育成のさらなる推進等につなげられるよう、市民の皆様や市内・県内の関係各界の皆様の御協力を賜りながら準備を進めてまいります。

1 市長、議長及び関係者のコメント

<山中 竹春 横浜市長・第 9 回アフリカ開発会議横浜誘致推進協議会 会長>

このたび、第 9 回アフリカ開発会議の開催地に横浜が選定されたことは、大変大きな喜びであり、開催自治体の長として、身の引き締まる思いです。

誘致推進協議会に御参画いただいた市内・県内の関係団体の皆様、誘致推進議員連盟の皆様をはじめ、御一緒に誘致に取り組んでくださった皆様の力強い御支援に、深く感謝申し上げます。

今年で発足 30 周年となるアフリカ開発会議は、グリーン成長や SDGs の達成をはじめとするアフリカの開発課題に取り組む枠組みとして、重要な国際会議です。

これからの世界の成長戦略には、経済成長と脱炭素を両立させるグリーントランスフォーメーション（GX）が大切であり、横浜市は GX による持続可能な都市の実現を目指しています。2027 年に横浜で開催する国際園芸博覧会「GREEN×EXPO2027」では、脱炭素や SDGs の達成に向けた様々なチャレンジを世界に発信していきます。

アフリカ開発会議の横浜開催が、2 年後の「GREEN×EXPO2027」の成功の大きな弾みとなると期待しています。

横浜市は、過去 3 回の開催を通じて培った経験やアフリカとの絆を基に、関係各界の皆様と連携し、万全の準備を進め、第 9 回アフリカ開発会議の成功と、アフリカと日本の関係強化に貢献してまいります。

＜瀬之間 康浩 横浜市会 議長＞

このたび、TICAD9の横浜開催が決定し、大変喜ばしく思っています。

今年4月には横浜誘致推進協議会として、第9回アフリカ開発会議横浜誘致議員連盟と連携し、内閣官房長官や外務副大臣に要望行動を行いました。

また、横浜市会としましては、過去3回のアフリカ開発会議の横浜開催を契機に、アフリカとの交流を深めてきました。さらに、今年5月には「第9回アフリカ開発会議（TICAD9）の横浜開催を求める決議」を行うなど、誘致活動に励んできました。

今後は、本会議の開催を通して、横浜とアフリカのより一層の連携強化や、国際平和への寄与にもつなげることができるよう、横浜市会として引き続き全力で取り組んでいきます。

＜佐藤 祐文 日本アフリカ友好横浜市会議員連盟 会長＞

第9回アフリカ開発会議の横浜開催が決定し、大変嬉しく思っております。

日本アフリカ友好横浜市会議員連盟は、平成27年の設立以降、アフリカ諸国への代表団の派遣や、アフリカと横浜をオンラインで繋いだ講演会の開催のほかTICAD8にあわせてチュニジアを訪問し政府要人との意見交換を行うなど、様々な機会を捉えてアフリカ諸国の皆様との相互理解・友好関係の構築に取り組んできました。

今後も、より一層アフリカと横浜の絆を深められるよう活動していくとともに、会議の成功に向けて協力していきます。

＜島村 大 参議院議員（第9回アフリカ開発会議横浜誘致議員連盟 会長）＞

第9回アフリカ開発会議の横浜開催が決まったことは大変喜ばしく、横浜にとって大きな意義があります。県内選出国會議員は超党派で「第9回アフリカ開発会議 横浜誘致議員連盟」を設立し、松野内閣官房長官はじめ多方面へ、地元の熱意や国際会議の開催地としての高い能力、立地の優位性などを伝えてまいりました。誘致実現にお力添えいただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

会議の成功に向けて、今後も引き続き、協力していきたいと考えます。

＜黒岩 祐治 神奈川県知事・第9回アフリカ開発会議横浜誘致推進協議会 特別顧問＞

過去3回の横浜開催に続いて、第9回アフリカ開発会議の横浜開催が決まったことを、大変嬉しく思っています。横浜開催に向けて、誘致推進協議会や誘致議員連盟をはじめとする誘致にご尽力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

開催地の知事として、横浜市や関係団体等と連携して、会議の成功に向けて協力していくとともに、会議の開催を通じて、多くの県民の皆様にもアフリカへの理解を深めていただき、神奈川、そして日本とアフリカとの絆がより一層深まるよう、取り組んでまいります。

2 誘致の経緯について

令和4年 8月29日	山中竹春横浜市長が清水富雄横浜市会議長（当時）及び日本アフリカ友好横浜市会議員連盟と共に TICAD9 誘致を表明
11月22日	山中竹春横浜市長から高木啓外務大臣政務官に横浜開催を要望
令和5年 4月24日	「第9回アフリカ開発会議 横浜誘致推進協議会」（以下、「協議会」）設立
25日	「第9回アフリカ開発会議 横浜誘致議員連盟」（以下、「国会議員連盟」）設立 協議会と国会議員連盟との合同で松野博一内閣官房長官及び山田賢司外務副大臣に横浜開催を要望
5月24日	横浜市会本会議において「第9回アフリカ開発会議の横浜開催を求める決議」を可決
31日	駐日アフリカ外交団（ADC）会議において TICAD9 横浜誘致について説明 外務省に「第9回アフリカ開発会議（TICAD9）」誘致計画案等を提出

(1) 第9回アフリカ開発会議横浜誘致推進協議会（令和5年4月24日設立）

構成： 市内・県内 31 団体

会長： 横浜市長

副会長： 神奈川県議会議長、横浜市会議長、日本アフリカ友好横浜市会議員連盟会長、横浜商工会議所会頭、神奈川県経営者協会会長

特別顧問： 神奈川県知事

顧問： 神奈川県選出国會議員有志 37 名

(2) 第9回アフリカ開発会議横浜誘致推進協議会による要望行動（令和5年4月25日実施）

神奈川県選出国會議員 39 名で構成された第9回アフリカ開発会議横浜誘致議員連盟（令和5年4月25日設立・最高顧問：菅義偉衆議院議員、会長：島村大参議院議員）との合同で、松野博一内閣官房長官及び山田賢司外務副大臣に横浜開催についての要望書をお渡ししました。

お問合せ先

(TICAD9 の横浜誘致に関することについて)

国際局国際連携課アフリカ開発会議誘致担当課長 菅井 亜紀子 TEL 045-671-4720

(横浜市会に関することについて)

議会局政策調査課長

鈴木 慶

TEL 045-671-3006

1 アフリカ開発会議とは (TICAD : Tokyo International Conference on African Development)

アフリカ開発会議は、日本政府が主導し、国連、国連開発計画、アフリカ連合委員会及び世界銀行と共同で開催する、アフリカの開発をテーマとした国際会議です。1993 年からこれまでに 8 回開催され、次回第 9 回は 2025 年に日本で開催されます。

横浜市は平成 20 (2008) 年の第 4 回、平成 25 (2013) 年の第 5 回、令和元 (2019) 年の第 7 回アフリカ開発会議の開催地となりました。第 7 回アフリカ開発会議は、42 名の首脳級を含むアフリカ 53 か国のほか、国内外から 10,000 人以上が参加し、我が国が主催する最大規模の国際会議となりました。

2 第 9 回会議横浜開催によって期待される効果

(1) 経済波及効果の高い国際会議の誘致

日本政府主催の経済波及効果の高い国際会議を開催し、市内経済の活性化に貢献します。

(2) グローバル MICE 都市としての競争力強化

各国首脳級レベルが参加し、メディアからも注目の高い国際会議をホストすることにより、横浜のグローバルプレゼンスを向上させます。

(3) 市内企業のビジネス機会の創出

横浜の都市課題解決の経験や知見を生かし、アフリカの発展に貢献するとともに、地球最後のフロンティアといわれるアフリカの経済・活力を横浜に取り込みます。

(4) TICAD 開催を契機として開始した取組の推進

これまでの積み重ねてきた様々な市民交流を継続し、「アフリカに一番近い都市」として市民の国際理解に貢献するとともに、Civic Pride の向上、次世代育成につなげます。

3 第 7 回アフリカ開発会議の本市への効果

(1) 市内経済波及効果 (観光庁 MICE 簡易測定モデルによる試算)

約 27 億 6,900 万円

(2) パブリシティ効果

調査対象期間：平成 30 年 4 月 1 日～令和元年 9 月 30 日

調査対象媒体：テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、Web

露出件数：15,968 件

広告価値換算額：約 155 億円

4 第 7 回アフリカ開発会議における横浜市の主な取組

令和元年 8 月 28 日～30 日に開催された第 7 回アフリカ開発会議 (TICAD 7) の会期中、横浜市は開催都市として様々な関連プログラムやおもてなしの取組を実施しました。

(1) 国際技術協力の拡大

ア 「アフリカのきれいな街プラットフォーム (ACCP)」 第 2 回全体会合への参加

イ 第 2 回「日・アフリカ官民インフラ会議」への参加

ウ 横浜 PR ブース出展

エ プラスチックごみ対策ブース出展

(2) ビジネス支援の強化、女性の活躍推進

ア 「日本・アフリカビジネス EXPO」 ジャパン・フェアに横浜市ブース出展

イ シンポジウム「女性と少女が変えるアフリカの未来」開催

(3) 次世代育成・市民交流の充実

- ア 「アフリカと横浜、あふれる力でともに未来へ」展
- イ 市内大学生等によるボランティア活動

(4) 会議参加者との交流等

- ア コートジボワール共和国首相 市会歓迎行事
- イ 子どもたちによる各国首脳のお出迎え
- ウ 総理・市長共催歓迎レセプションの開催
- エ 総理夫人主催配偶者プログラムへの実施協力
- オ 市内観光の案内（専用デスク設置）
- カ 第3回野口英世アフリカ賞受賞者歓迎行事

参考資料：第7回アフリカ開発会議横浜市開催推進本部体制図

第7回アフリカ開発会議横浜市開催推進本部体制図

